

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 20 日作成)

委員会名	安全計画小委員会	主 査 名：志田弘二
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会	委員長名：服部岑生
設 置 期 間	2004 年 4 月 ～ 2006 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	設置目的： 建築の新しい形態や使われ方、また関連技術の進歩にともなって発生する危険要因を抽出し、それに対応した安全計画のあり方を提案する。 2004 年度： テーマA「避難安全のバリアフリー計画」を小委員会HPに掲載するための編集作業 テーマB「テロ等大規模想定外災害の安全計画」に関する調査研究の開始	
委員構成 (委員名(所属))	志田弘二(名市大), 福井潔(日建設計), 水落秀木(清水建設), 掛川秀史(清水建設), 佐野友紀(早大), 土屋伸一(明野設備研究所), 富松太基(日本設計), 萩原一郎(独立行政法人建築研究所), 林 広明(大成建設), 古川容子(財団法人日本建築センター), 宮崎恵子(独立行政法人海上技術安全研究所), 村井裕樹(イー・アール・エス), 八木真爾(佐藤総合計画), 吉村英祐(大阪大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	防災指針編集WG 建物の火災安全性能は、単に法令基準に適合させるだけでは不十分である。この問題を見据え、安全な建物を実現するうえで必要な考え方や対策などをまとめた、総合的な視点に立った防災計画の設計のガイドラインを作成する。	
2004 年度予算	135,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	開催回数：計 7 回 開催日(参加人数)：4月26日(10人), 6月21日(8人), 9月15日(9人), 12月6日(10人), 2月2日(8人), 3月23日(8人)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) テーマA：避難安全のバリアフリー計画に関して、要件と推奨計画手法ならびに参考資料をまとめ、ホームページ上に公開する(予定：年度末) テーマB：津波・都市水害(地下空間における浸水)・学校施設の防犯に関して資料収集と意見交換を行い整理した。主な内容は以下。 池田小学校新校舎の防犯設計 国土交通省地下空間における浸水対策ガイドライン : 浸水時の避難安全検証法 国立国際美術館の水災対策 高知県立美術館の水災 津波避難用建物(静岡・三重) 津波発生時の避難シミュレーション：三重県尾鷲等
	委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s6/
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) テーマA：実務者への意見収集や事例収集が充分ではなかった テーマB：委員会内部での講師を招いての講演等が実施できなかった
その他評価すべき事項	特になし